

意外と積める、遊べる。VWのコンパクトカー



全長3545×全幅1650mmと、VWで最もコンパクトなup!ながら、荷室の最大容量も951ℓと充実ぶり！ルーフのバスケットから荷物を降ろせば、女子キャンプの準備は完了！カメラ温泉キャンプ場はテントやタープなど、必要なものがすべて用意されているから、楽チンなのだ！

アウトドア仕様にベストマッチ！

ディーン クロスカントリー



DEAN CROSS COUNTRY

キュートなup!の足元はディーン クロスカントリー（15×6J 1N32）で飾る。センターブレードをはめた鉄ちん風のレトロなデザインは、TOYOオープンカントリー R/T（165/65R15）にもマッチ。これらはキャンプライムのコンプリートカーメニューの標準装備だ。ホイールカラーはマットブラックのほか、マーガレットホワイトも用意。14～17インチをラインナップし、ジムニーからデリカD:5、CX-3/5、ハイエース、ランクルなどにも対応する。



天井に載せたカーゴバスケットはスーリーのキャニオンXTを装着し積載量を向上！ベースキャリアもスーリー製だ。前後の黒バンパーや樹脂風塗装されたドアミラーなどで、あえてダウングレード風に見せ、アウトドアにもハマる武骨感を演出。これらは「キャンプライム」のコンプリートカーメニューに内包される。



コンパクトさが逆にいい！

up!が旅のパートナー

こんなクルマで出かけたい
コダワりの愛車とソトアソビ

アウトドアアクティビティのお供と考えると、クルマはやはり荷室が大きく、四駆であることがモトアベター。とは言っても、クルマ選びなんてそもそも好みだったり、所有できる条件によって、選択肢は様々だ。ここではVW最小のコンパクトカーであるup!を、アウトドアの相棒にした事例をご紹介します。ミニマルサイズのキュートなキャンフ仕様、なんでも「アリ」なチョイスですよ。



VW up! by Camprime

香川の東、さぬき市寒川町にある門入ダムを背に2台連なって走るup!。高松市内からクルマで約40分。近くには修験道の開祖、役行者をまつた山上神社があり、四国八十八カ所の最終札所・大窪寺へとつながる道の途中にあるのが、自然とアートの融合が味わえる「門入の郷」だ。その公園内にある真っ赤な橋のすぐ手前があるのが、目的地「カメラ温泉キャンプ場」だ。

街中からアウトドアまで似合うコンパクトカーVW up!。赤と水色のカラフルなVW up!を連ねて、女子二人が香川へGO!。待ち合わせは、早朝の大阪市内。渋滞がなければ、明石海峡大橋を渡り、淡路島を越えて、高松自動車道の津田東インターチェンジまで、約2時間という行程だ。目的はプチドライブを兼ねてキャンプに行くこと。旅のパートナーに選んだup!は、ちょっとレトロなホイールにゴツゴツしたタイヤを履き、車高が上がったキュートなスタイリング。これは大阪のインプライムが仕上げた車両で、「キャンプライム」というブランド名で展開されるアウトドア仕様のコンプリートカーだ。なぜup!のコンプリートなのか？ それは街中にあってもかわいいup!が、アウトドアフィールドにいたっておかしくない、むしろマッチするんじゃない？ っていうところが発端。そもそもキャンプ場に行くなら荷物がたくさん積載できる大きなクルマで、4WDの方がいい気もするけれど、実際4〜5人でクルマに乗るなんてことは滅多にないし、小さい方が使い勝手もよけりや、アウトドアのゲタに使うならお手頃価格の方が気兼ねが要らないし、ってことでup!がコンプリートカーのベースになったってわけ。実際に乗ると、リフトアップスプリングでちょい上げた車高は乗り降りしやすいし、なんたって見た目がキュート。そんなクルマを運転しては2時間。もうすぐ目的地だ。今日は思いっきりキャンプを楽しもう！

車両／2015年型VW up!
協力/クリムソン www.crimson-inc.co.jp
インプライム072-927-7766 www.imprime.jp
ロケ地協力/カメラ温泉キャンプ場 spa-camellia-camp.com
文/岡本 晃 写真/南井浩幸

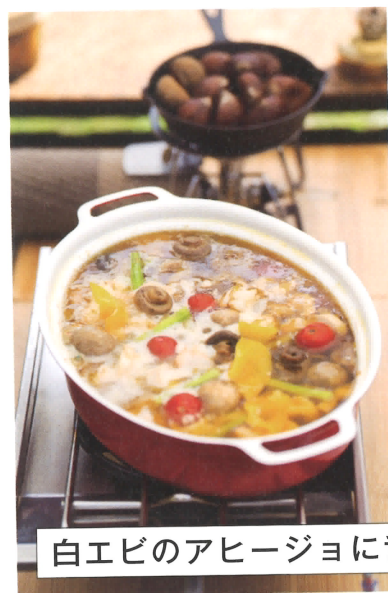


実はRCカーにもコダワリあり

USTラックスのクローラー

TRAXXAS TRX-4

キャンプ場で走らせるために持ってきたRCクローラーとラックス TRX-4。スタックラダーまで取り込んだオーバーランドスタイルの1/10ディフェンダー110は、悪路だってお構いなしで走れるよう、ダンパーのストローク長を伸ばし、スプリングの自由長もアップ。伸びる足により、道なき道を走り抜ける！この面白さにハマったラジコン女子も増殖中？なのだ。



美味しくできマシタ！

白エビのアヒージョに舌鼓！

女子二人の賑やかな話は尽きないなか、料理は着々と仕上がっていく。この日は刻んだニンニクをたっぷり入れた白エビのアヒージョが登がお昼ご飯！ フリフリな白エビに、パプリカやプチトマトで色とりどりのアヒージョと、拾ってきた栗を焼いたものを肴に、女子トークはますます盛り上がったのは言うまでもない。



VW up!

by Camprime

この日のアクティビティーはRCカー
実車もスケールモデルも堪能しまくり

最近流行りのRCクローラー！
キャンプのアクティビティーには最適
目的地となったのは香川県さぬき市の門入ダムを囲むように整備された「門入の郷」のなかにある「カメリアキャンプ場」。有名ブランドのテントやタープなどのレンタル&設営ができ、手ぶらで来られるだけでなく、場内にあるログハウスは冷暖房はもちろんだこと、温水キッチンも備え、キャンプへの敷居をグッと下げる施設だ。ワイワイと楽しむのもいいけれど、2人でのキャンプなら、全部で5サイトというこじんまりと感もちょうどいい。さて、キャンプ場に着いたら、まずはアクティビティーにチャレンジ。最近キャンプ好きの間では、ゴツゴツした岩場だって走れちゃうRCクローラーが流行りと聞いた。そこで持ち込

んだのはアメリカ発のシャーシメーカー、トラックスのTRX-4。1/10モデルで、ボディはディフェンダー110だ。コントローラーを駆使し、敷地内に流れる小川を遡上。岩をガシガシ乗り越えていくには多少コツがいるが、結構面白い。「ラジコン好き女子」とはなかなかレアだが、クルマに興味があるなら同じタイヤ付きってことで、誰しもハマれる要素はあるのかも。ひと通り岩を越えて走れるコツを掴んだところでご飯タイム。この日のメニューは白エビのアヒージョだ。そんなこんなでプチ旅&デイキャンプを満喫した2人。帰りも同じ道で帰るワケだが、行き道の道中コンパクトカーでも長距離は全然OK、と新たな気づきをゲット。帰路でもストレスフリーなドライブを楽しんだのだ。



車高UPでさまざまなフィールドに対応

樹脂塗装のフロントバンパーのボトムをガンメタに塗り分けるセンスがいい。インプライムがプロデュースするブランド「インプラス」の40mmアップスプリングを入れることで、シャキッとした乗り味に変身。タイヤ&ホイール、バンパー&ミラーペイント、スーリー製キャリアにした「キャンプライム」のコンプリートカーは車両本体価格89万円～。

